



未来ファンド おうみ

おたがいさまがつながる社会をめざす
にゅーす

News

Mirai Fund Ohmi News Letter Vol.3

2012.6 夏号



つながる活動

Photo



白鳥川の景観を 良くする会

近江八幡市の中央を流れている白鳥川流域に5kmの花・桜並木づくりや河川敷・堤防等の清掃などを行う定年退職者を中心としたボランティアグループ「白鳥川の景観を良くする会」は、未来ファンドおうみ「びわ湖の日基金」助成を受け、地域活性化と自然環境維持向上の活動として、メンバー手作りの「桜ぼんぼり」を桜並木に設置し花見シーズンを盛り上げると共に、市民の方々より提供頂いた鯉のぼりで「鯉のぼりの川渡し」を行いました。毎回30名強の方々ボランティアに参加し、シニア男性の生きがいづくり、健康づくり、仲間づくり(3づくり)の場にもなっています。

Data

- 団体名：白鳥川の景観を良くする会(略称：景観隊)
- 連絡先：滋賀県近江八幡市堀上町2-6
TEL：0748-36-8457 FAX：0748-36-8457
E-mail：yoshida.e@air.ocn.ne.jp
URL：http://keikantai484.shiga-saku.net/
「景観隊484」で検索してください。

話題

「寄付に想いを託して 未来を創る社会へ」

つながる社会

Tsunagaru Syakai

淡海ネットワークセンターは、市民活動を支え、ネットワークを広げることが目的に1997年に活動を始めました。地域の人々がお互いに支え合い、ずっと安心して暮らせる社会づくり。古来より受け継いできた豊かな自然環境を子どもたちに引き継ぐための森づくり。とぎれてしまった伝統にもう一度息吹を取り戻す取り組みなど、地域の個性や魅力を高

め、暮らしをより良くするための活動に自主的に取り組むNPO・市民活動の広がりを支援しています。2002年に開設した「おうみNPO活動基金」による助成事業は、市民活動団体がより安定的に継続した取り組みができるよう、資金面と組織運営の両面からサポートを行い、これまで延べ100団体に助成してまいりました。

これらの実績を踏まえ、2011年には個人、団体、企業、誰でも地域への想いを込めた寄付で市民活動を応援することができ、寄付の使われ方が最後まで見える仕組みである「未

来ファンドおうみ」を創設しました。地域の暮らしを支える市民活動を地域に暮らす市民が支える仕組みこそ、持続可能な未来につながる地域づくりだと考えています。また、一定の要件を備えた寄付の場合には、寄付者の想いが伝わる基金を開設し、助成を受ける団体は寄付者の期待に応えることの大切さを実感しながら活動しています。

例えば、「びわこ市民活動応援基金」は、関西アーバン銀行(旧びわこ銀行)と行員のみなさまから、市民によるボランティア活動の広がりを応援したいという想いを込めて寄付



ファンドレイジングの小箱

A Small Box of FUNDRAISING

寄付を集めるためのひと工夫、寄付者の共感を呼ぶ事業、想いをつなぐ取り組みをご紹介します。

NPO法人 **びわ湖トラスト**

琵琶湖の現状を知ること、知らせることで、 支える気持ちと人の和を増やす

びわ湖の環境保全活動を推進している「NPO法人びわ湖トラスト」の主な活動は、湖底水質調査、琵琶湖の環境学習会の開催、トチノキ・水源の森の保全、湖底のゴミ回収などです。

2006年、淡水探査ロボット「^{たんたん}淡探」の調査が予算不足のために中断するとの話が出ました。温暖化による湖底の酸欠状態やメタンガス発生の状況などを明らかにしてきた「淡探」の調査の継続を訴え、4,000名が署名。研究者や市民等253人が発起人となり、湖底調査だけでなく琵琶湖を取り巻く環境の保全活動を目的に2008年にNPO法人を設立。市民や企業などに「知ること」の大切さを伝え、寄付や会費、助成金などで運営を始めました。

調査活動を動画でPRしたところ、環境保全活動をするNPOの育成にも力を入れる西日本高速道路エリアパートナーズ倶楽部の目にとまり、2009年から、毎年500万円の支援を受けることができました。琵琶湖汽船のエコ客船megumiを使い、親子で行う環境体験学習活動、カヌーで水上を自由に動ける楽しさを実感しながら琵琶湖の生き物を調べる活動など「知ること」の大切さを伝えていきます。

2010年秋、高島市朽木村の巨木が大量に伐採されたと報道が出ました。地元市民団体「巨木と水源の郷を守る会」と協力し、トチノキ・水源の森保全プロジェクトとして巨木の調査を行いました。現状を「知ること」で守る気持ちの輪を広げるため、森



▲近江舞子にてびわ湖の水の透明度を測っています。

の大切さについての講演会を実施しています。また今後エコツアー等を予定しています。

山・川・湖の「キレイ」を明日へつなげたいという未来への熱い思いがひしひしと伝わってきました。

NPO法人びわ湖トラスト

〒520-0047

滋賀県大津市浜大津5-1-1

TEL / FAX : 077-522-7255

E-mail : biwako-trust@road.ocn.ne.jp

URL : <http://www.biwako-trust.com>

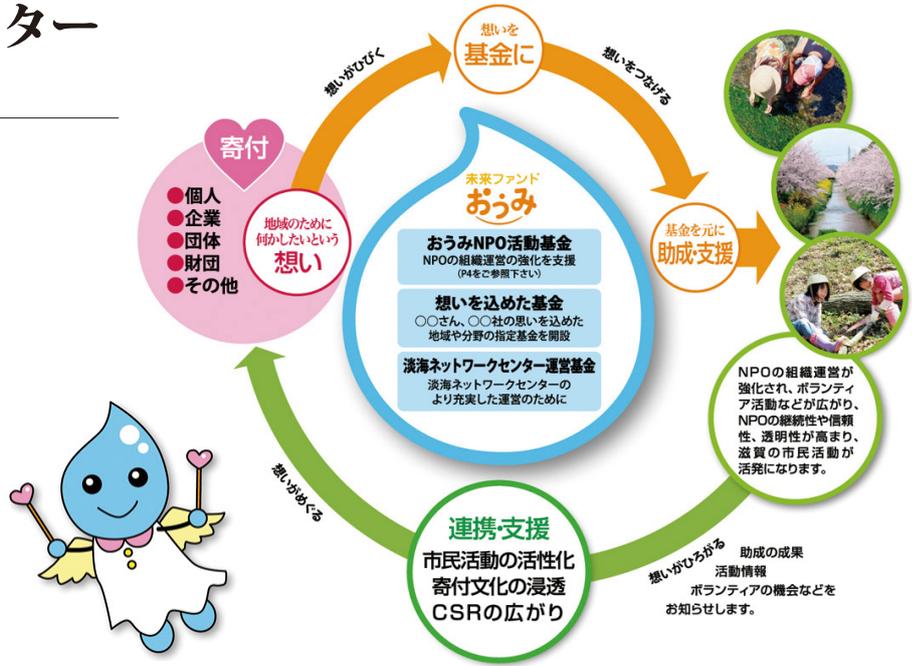
淡海ネットワークセンター

理事長 中村 順一

いただき開設いたしました。アートイベントや青年団による夏祭りの復活など地域で多くの人に関わる活動へ助成しています。

「日本の元気なきずなプロジェクト基金」は、びわこ市民研究所さまから地域のきずなをつくる活動を応援したいという想いを込めて寄付いただき開設いたしました。今年4月にはこの基金から長年地域のきずなを結ぶ活動をしてきた団体に対し「淡海のつなぐ、ひらく、みらい賞」の表彰と副賞の贈呈を行い、さらなる活動の広がりを応援しています。

里山保全、子どもの自然体験、子



育て支援、障害者や高齢者などのサロン運営など、地域社会で気になるテーマがあれば、寄付に想いを託して活動する団体を応援してみませんか。

か。私たちの地域と未来を共に創る喜びを、一人ひとりが実感できる社会を願っています。

未来ファンドおうみ応援団 Cheer Group of MIRAI FUND



未来ファンドおうみへご寄付いただいた企業、個人の方々の想いをご紹介します。

生活協同組合 コープしが

NPOとのネットワークで 人が住みよい社会づくりをめざす

組合員14万6千人を抱える「生活協同組合コープしが」では市民活動の支援として、設立10周年に100万円、15周年には50万円を「おうみNPO活動基金」にご寄付いただきました。そこで、市民活動への期待や思いについて、理事長の西山実さんにお話をお聞きしました。

生協がめざしているものは、一人ひとりの思いや願いを協働の力でかなえ、よりよい社会を築くことです。安全安心な商品の購入から始まり、商品学習会や産地見学などを通して、消費者が自ら学び考えて活動し地域が活性化することを願っています。そのために、生協は社会生活に関する情報や活動の場を提供し、市民一人ひとりが自立していく手助けをしています。

東日本大震災後、協同組合として「生協」が見直されるようになりました。自分ひとりではなく、みんなの手が結び合っていることの安心や大切さを感じたからです。

でも、生協だけではまだ不十分なところもあり、NPOと連携することでより活動が充実します。9月に開催するコープしがの「びわ湖の日」のとりくみで宮ヶ浜の清掃活動と地元の団体と地引き網の体験を行いました。びわ湖についての学習を深めることができました。社会に貢献するという点では生協もNPOも目指すものは同じなので、ネットワークがつながって、住みよい社会づくりが実現すればと思っています。

地域の人が、主体的になって地域のため



▲びわこの日に地引き網でびわ湖お魚調査とびわ湖の清掃活動をしました。

に生き生きと活動し、地域が活性化するためにも、NPOに期待し応援していきたいと思っています。

生活協同組合コープしが

〒520-2351
滋賀県野洲市富波甲972
TEL : 077-586-4881
FAX : 077-518-1177
URL : <http://www.pak2.com/>

朝市で広がる生産者と消費者の顔の見える関係

未来ファンドおうみ
「淡海のつなぐ、
ひらく、みらい賞」
受賞

浜大津朝市運営委員会

浜大津朝市運営委員会は平成15年から浜大津こだわり朝市を運営しています。

浜大津こだわり朝市は毎月第3日曜日午前8時から、京阪浜大津駅ターミナルデッキ上にて開催しています。県内各地より集まった「こだわりの品々」とれたて野菜や焼きたてパン、漁師さんが釣ったびわ湖の魚など毎月30～40店舗がずらりと並び、正午までの開催時間の間、辺りは多くの人で賑わいます。今年2月で開催回数100回を数えました。「顔と顔の見える関係」を大切に市場。新店舗も増え、ますます楽しい浜大津こだわり朝市にぜひ遊びにいらして下さい。



- ◆浜大津朝市運営委員会
- ◆連絡先：大津市浜大津1丁目3-8
- TEL.077-524-7826(金・土・日)
- URL：http://kodawarimarket.com/

地域ささえあいネットワーク事業

NPO法人元気な仲間

NPO法人元気な仲間では、高島市内を中心に住みたい地域や住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく暮らせる地域作りを目標にして活動しています。平成24年度は、未来ファンドおうみ「おうみNPO活動基金」の助成を受け、地域での共助を育て新しいふれあいのある地域を目指すために、「まかせてサポーター養成講座」を開催します。地域でのサポーターとして動く時の基本的な注意点を学んでいただいたり、「子育てサポーター養成講座」などで、子どもとの関わり方を特化したりして、現在妊娠中の方から育児真っ最中の方、孫を見ておられる方にも幅広く学んでいただける講座を展開します。ぜひ皆さんで住みやすい地域を一緒に作りましょう。



- 子育てサポーター養成講座
- ◆日時：6月28日(木)、7月5日(木)、12日(木)、19日(木)、26日(木) 全5回10時～12時
- ◆場所：高島市働く女性の家(今津町今津1640)
- ◆連絡先：0740-20-1313(たすけあい高島 担当)

Information

インフォメーション

未来ファンドおうみ「あなたの想いを込めた基金」開設のご案内

未来ファンドおうみでは、市民活動を応援したい、地域で活動する団体を応援したいという想いを助成金で応援できる「想いを込めた基金」の開設を寄付額30万円以上からできます。

「びわこ市民活動応援基金」は関西アーバン銀行(旧びわこ銀行)さまと行員のみなさまからの寄付により開設しました。「日本の元気なきずなプロジェクト基金」は、びわこ市民研究所さまの寄付により開設しました。

詳細につきましては、淡海ネットワークセンターへお問い合わせください。

未来ファンドおうみ「びわ湖の日基金」寄付つき商品募集中！

県内の河川、湖岸などさまざまな場所で多くの人に参加する「びわ湖の日」一斉清掃は30年以上続く活動です。2011年7月1日、この息の長い活動をさらに上げたいと、年間を通じて琵琶湖と琵琶湖につながる森林や河川などで環境保全活動を行う市民活動団体を支援する「びわ湖の日基金」を開設しました。

より多くの人に参加しやすい方法として、「びわ湖の日基金」を応援する寄付つき商品を募集しています。商品を購入して琵琶湖を応援できる仕組みです。琵琶湖の環境保全を応援する寄付つき商品にご協力ください。お問い合わせは淡海ネットワークセンターまで。インターネットで「びわ湖の日基金」と検索してください。

●現在好評発売中のびわ湖の日募金寄付つき賞品●



▲(有)とも栄菓舗
あど菓みるく



▲(有)とも栄菓舗
あど菓むっす



▲(株)ヌーベルムラチ
あわび茸の山椒煮、あわび茸昆布、あわび茸の炊きこみご飯の素



▲(株)いのうえ
滋賀まるごとカレー



▲(株)いのうえ
滋賀まるごとかぼちゃスープ

未来ファンドおうみへの寄付・助成事業についてのご相談は淡海ネットワークセンターへ



Ohmi Network Center

淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

公益財団法人 淡海文化振興財団

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPO をサポート・ネットワークしています。

■〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2 階 ■TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442

■http://www.ohmi-net.com ■E-mail:office@ohmi-net.com ■開館時間/ 9:00～17:00 ■休館日/ 月曜日・祝日